

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	いるかの教室				公表日	令和7年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		スペースを活用しながら、活動を行っています。	過ごしやすい空間になるように常時、工夫をしています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		法で示されている人数配置は常に行っております。外出などの際は必要に応じて追加して職員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>	建物の外に段差や階段等があるため、移動の際に十分に配慮しながら行っています。	スロープ等の検討を行っていますが、環境が整うまでは、安全には配慮しながら支援を行っていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日清掃を行い、清潔に努めています。必要に応じて構造化を行っています	子ども達自身が考え行動しやすいように構造化の工夫をしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		子どもたちの意思を大事にしながら、必要に応じて使用を認めています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		前日の振り返りや前回利用したときの様子など、申し送りの中で情報の共有を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に1回アンケートを配布し、保護者様の意向を把握し、改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティングの中で職員が意見しやすい雰囲気の中で行い、業務の見直しなど行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	今年度は3月に第三者委員会を実施。評価結果をもとに意見交換を行い、業務改善に繋げていきます。	第三者委員会の実績回数が少なく、今年度実施の第三者委員会をもって会議内容の充実化を図っていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修を受けてきた職員による伝達研修の実施や、研修を受ける機会が設けられています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムの作成を行い、ホームページに掲載しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者様や児童、職員、関係機関などから情報の収集を行い、ひとりひとりに合った支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員全員が情報の共有、支援内容を検討できるようにミーティング行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		子ども達の意見も取り入れながら計画の作成を行い、職員間で共有を図りながら支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		個々の能力や特性にあった支援を行うために活用しています。また、保護者様より病院等での発達に関する検査結果など提供いただき、支援に取り入れております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに沿った支援の提供を心掛けております。	ガイドラインの内容の周知を職員間にも行い、理解を深めています。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		どのようにすれば子どもたちにとってよい療育になるのか、どう支援したらよいか意見交換を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		固定化しないように、子どもたちの様子や活動の内容の振り返りを行い、同じ活動でも発展を取り入れながら行っています。子どもたちが取り組みたい活動等意見も聞き、プログラムに取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個々に合わせて集団活動、個別活動を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎日、子どもたちが来る前に活動の打ち合わせを行い、支援の内容、役割などの確認を行い、支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		就業時間に違いがあるため、ノートの活用を行い、支援の振り返りに活かしています。次の日の申し送り時に振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		支援記録や申し送りノートを活用し、日々の支援に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		6ヶ月に1回モニタリングを実施し、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>		個々に合わせて4つの基本活動を組み合わせながら計画を立て支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて選択肢を取り入れたり、自分で決める場面を設定したりしながら自己決定をする力を育てるための支援を行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者が会議に出席しています。状況に応じて必要な職員が会議に出席することもあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて学校や他の児童発達施設等の関係機関と情報共有の場を設け、支援体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		年度末には各学校に次年度の年間計画を確認し、送迎場所の共通認識など利用者が不安にならないように普段の流れが変更しないように努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		相談支援員を通して就学前の他事業所や保育園、幼稚園での様子を確認し個別支援計画を作成しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>			放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者が在籍していないため現在では提供はしていないが、在籍があった場合には対応できるように準備を進めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		職員のスキルアップや支援の質を高めるために、積極的に研修に参加を行っています。	職員全員が学べるように、伝達研修等行っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		地域の方々も一緒に参加できる行事の計画を行っています。休日や長期休暇に児童館の利用も活動に取り入れています。	地域のこどもたちの行事への参加や児童館利用が少ないため、交流する機会の検討を行っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		長期休暇を除いて、月に一度、児童発達支援管理責任者がこども専門部会への参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎時に状況や課題等伝えていきます。状況に応じて面談の場を設けるなどしながら共通理解を図っています。	

保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		子育ての悩みなどを相談できる機会を作っています。必要に応じて、その都度対応させていただきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		運営規定、利用者負担については契約の際に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		モニタリングの時やご相談があった際に、保護者様の意向や思いを聞かせていただいています。伝える事ができる児童には来所した際に本人の意向の聞き取りを行っています。	聞き取りが難しい方への計画が、保護者様や本人の意思を尊重したものになるように留意してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		計画書を提示し、分かりやすい言葉で伝える事を意識しながら説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		面談や、相談会の実施をしています。保護者様の考えや思いを大事にしながら内容に応じたの助言等を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		月1度相談会を設けており、保護者様同士の交流を設けています。	たくさんの保護者のみなさまが参加できるように、開催日程の工夫を行っています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		内容に応じての対応を迅速に行い、再発防止のための取組等を職員全体で考えています。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		毎月通信を発行し情報を発信しています。月1度HPへも情報等UPしています。必要に応じてLINEを活用しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		情報の取り扱いには注意するよう周知をしています。写真等の使用についても保護者様に確認を取っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		わかりやすく説明するように心がけています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		餅つき大会に地域の方々を招待し参加していただいています。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各マニュアルを策定し職員に周知を行い、定期的に訓練等実施しています。	職員全員、なるべく多くの利用児童が訓練に参加できるように開催日程を調整してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		業務継続計画を策定し、避難訓練等実施しています。	実際の地震などを踏まえて計画の見直しを行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		面談やLINE等を活用し、状況の確認を行い、把握に努めています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		事前にご家族様からお聞きしているアレルギー製品に十分注意し、提供を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		各マニュアルを作成し、職員に周知を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		各マニュアルに沿って支援を行っていることをお伝えしています。	保護者様への周知が不十分な部分もあるため、手稲に説明をしっかりとおこなってまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ミーティングの際や、申し送り時に、ヒヤリハット報告をし、再発防止に向けての取組みを検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止のために研修動画を見たり、日頃の自分たちの支援を振り返るために、職員アンケートを取るなど対策に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		ご家族に説明を行ったうえで、必要な場合には記載を行っています。職員間で意見交換をする際に、身体拘束が本当に必要か疑問を持つように心がけています。		